

## 祝 辞

旧軽井沢公民館の落成式典に際しまして、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

旧公民館施設は、昭和二十七年に軽井沢町健康保険旧軽井沢診療所として建設され、その後軽井沢病院として利用されていた施設を、昭和五十年四月に旧軽井沢区民の皆様の強い要望を受けて、改修工事を行ない旧軽井沢公民館として開館いたしました。約五十年間もの長い間、地域活動の拠点として、区民の諸会合や趣味等の、憩いの場として活用されて参りましたが、老朽化が進み公民館の建て直しの計画がなされました。

新たに建築された旧軽井沢公民館は、災害時にも安心して避難所として過ごせるよう設計をし、町内の公民館では初めてとなる太陽光パネル、蓄電池を設置いたしました。また、多目的トイレにはオストメイト対応のトイレを設置し、どなたでも災害時には安心して過ごせる公民館として整備を進めて参りました。

区民の皆様の熱い願いがようやく実り、本日ここに落成式典開催の運びとなりましたことは、大きな喜びと致すところでございます。

この公民館は付近の自然や周囲との調和を図るとともに、バリアフリーを取り入れ、高齢者に優しい設計になっております。また多世代交流を目的とした広いホールを設け、ギャラリーとしても使用できるよう考慮いたしました。

旧軽井沢区は軽井沢の伝統的な別荘地であり、別荘所有者との交流も盛んな地域でもあります。今後も更なる地域交流の場として活用されることを期待いたします。

結びに、旧軽井沢区の皆様の益々の発展をご祈念申し上げ挨拶と致します。

本日は、誠におめでとうございます。

令和六年十二月十二日

軽井沢町長 土屋 三千夫

本日は、この旧軽井沢公民館の落成式という晴れの日、皆様とともにお祝いできることを心よりうれしく思います。

移転前の旧軽井沢公民館は、元は病院だった施設を、町のご厚意により、無償で期限の定めなく利用できることになっておりました。しかしながら、老朽化する建物の改修工事など、維持管理にも多くの費用を要することから、公民館としての機能を備えた新しい施設を持つことが、旧軽井沢区民の積年の願いでありました。

旧軽井沢区会では、公民館建設準備委員会を組織して、現公民館のままの存続案や、部分改修案、あるいは完全に建て替える案などあらゆる角度から議論してまいりました。その結果、建て替える案を以って、長い間、軽井沢町と度重なる折衝を続けてまいりました。令和の時代になってから、軽井沢町としてこの案件を真摯に検討していただき、新型コロナウイルス禍や、建設予定地の変更、建設資材の高騰ほか、幾多の困難を経て、令和五年十月六日に起工式を挙行する運びとなりました。

建設工事期間は令和七年二月までの予定で、施主の軽井沢町、設計監理の良建築設計

事務所、建設工事の株式会社竹花組の皆様の大いなるご努力により、半年近い早期完成を迎えることができました。

去る九月六日には軽井沢町長から建物の引渡し状を頂き、旧軽井沢区での管理を委託されました。

その後、旧軽井沢区会では、旧館からの厨房設備、什器備品類の移動や、音響設備、空調設備などの新設を行い、本日、ここに最新の機能を備えた、軽井沢町公民館分館として旧軽井沢公民館が落成式を迎えることができました。

この公民館は地域住民が集まり、ともに学び、交流を深め、そして健康な日常生活を維持する場として、重要な役割を果たしてまいります。また、災害発生時には、一次避難所としての機能も担っております。

改めて、軽井沢町の関係者の方々、設計監理、工事施工の関係者の方々に深く、深く、感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

令和六年十二月十二日

旧軽井沢区長 柳 下 誠